

奉天系原株再歸熱「スピロヘータ」を海狸に接種感染せしめた後耐過再歸熱家兔免疫血清を以て之を他働的に處理し「アグロメラチオン」に由つて其結果を追究して次の結論を得た。

1、奉天系再歸熱「スピロヘータ」を接種感染せしめた海狸に同株「スピロヘータ」耐過家兔免疫血清を注射したが之に由つて該海狸に出現する「アグロメラチオン」効價に高低を生じた。

2、「アグロメラチオン」効價の高い血清を注射した感染海狸群に出現する「アグロメラチオン」効價は低く、「アグロメラチオン」効價の低い免疫血清を注射した感染海狸群には高い「アグロメラチオン」効果が出現した。

3、感染海狸に他働的に出現する「アグロメラチオン」効價は非感染對照海狸に比して概ね僅に低價であつた。

4、免疫血清の「アグロメラチオン」効果が低い場合は感染海狸に於ては他働的に「アグロメラチオン」効果は微價を以て出現し、感染對照海狸の「アグロメラチオン」効價出現と同時に高効價を呈したが、感染對照海狸の効價に比して稍低かつた。

5、一般に「アグロメラチオン」効果の發現消長は試験個體の差に由る僅微の變動ある事は免れない。

6、免液血清注射後24時間の感染海狸血液を「マウス」の腹腔内に接種し6—13日に至る觀察を遂げたが「スピロヘータ」を證明し得なかつた。(桑原抄)

海狸再歸熱の實驗的研究(V)

感染海狸に及ぼす免疫家兔血清の影響(2)

小林 樵夫

皮膚科紀要 33卷 3號 昭和14年3月

奉天系再歸熱「スピロヘータ」浮游菌液を種々の量に分ちて腹腔内に接種して感染せしめたる海狸に、同株「スピロヘータ」耐過免疫家兔血清を等量腹腔内注射を施し海狸體內に發現する「アグロメラチオン」効果を測定し、一方此免疫血清注射後24時間に心臟穿刺により採取した血

液を「マウス」に接種して殺「スピロヘータ」作用が發揮せられたかを間接に檢し、且つ耳翼海狸血液を日々暗視野裝置下に鏡檢した。(桑原抄)

肺炎雙球菌の自働的免疫に關する實驗的研究、肺炎雙球菌I型菌の免疫に於て抗原の製法異なる事に因り此際成生せらるる凝集素の發現度及び其の消長の差異に就て

越智 昇一

同誌

肺炎雙球菌を100°Cの高熱で1時間加熱し菌體を除去した上清液も免疫賦與能力を完全に保有し免疫効果に於ても60°C 30分加熱「ワクチン」と大差なき事實を認めた、只同株免疫液の同量を以て處置しても動物の獨自の個性により免疫形成に相違を來すものである。(桑原抄)

Brown-Pearce 系癌腫の酵素學的研究(V)

Brown-Pearce 系癌腫家兔の腫瘍並に肝、腎、筋及睾丸の「ヂペプチターゼ」に就て

森 義一

同誌

片側睾丸に移植して得た Brown-Pearce 系癌腫家兔を、其臨床的症狀並に病理解剖的見地から癌腫症初期群、中期群、末期、群の3群に分ち睾丸原發及肝、腎、淋巴腺轉移腫瘍の「ヂペプチターゼ」作用の腫瘍組織の老成變化(新鮮、過熱、壞死)に伴ふ消長を檢索し併せて肝、腎、筋、睾丸の「ヂペプチターゼ」量を測定して之が消長と全生體の癌腫症性變遷經過との關係を觀察した。(桑原抄)

Sarcosporidia に關する研究

罹患動物血清の補體結合反應並に沈降反應に就て

荒瀬 恒雄

皮膚科紀要 第33卷 第4號 昭和14年4月

豚寄生並に牛寄生の住内胞子蟲體抗原を以て豚、牛、馬血清につき補體結合反應並に沈降反應を行ひ次の結論を得た。